

◎平成28年度事業運営の特徴と課題

1. 各介護保険事業の状況

(1) 利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
特別養護老人ホーム %	89.3	89.7	94.4	92.4	92.5	93.4	90.5	91.5	95.4	95.5	96.9	98.8	93.3% (99.0人)
ショートステイ %	163.3	197.1	155.6	149.6	160.3	154.0	171.2	163.3	145.1	150.0	140.6	117.4	156.4% (15.6人)
特養/SS合計 %	95.6	99.0	99.6	97.3	98.3	98.6	97.5	97.6	99.7	100.1	101.1	100.4	98.7% (114.5人)
デイサービス (一般) 人数	36.1	36.2	37.2	37.3	35.1	35.4	35.7	36.3	37.9	36.7	37.6	36.9	36.5人
デイサービス (認知) 人数	11.2	11.0	10.8	11.2	11.9	12.3	11.3	9.5	10.3	10.4	11.3	11.2	11.0人
デイサービス 合計 人数	47.3	47.2	48.0	48.5	47.0	47.7	47.0	45.8	48.2	47.1	48.9	48.1	47.5人
居宅 ケアプラン 数	68	65	65	65	62	64	69	73	70	69	63	67	66.7件
包括 予防プラン 数	408	436	425	417	414	428	419	408	422	419	436	427	5059件

(2) 特別養護老人ホーム/介護老人福祉施設の利用状況 (定員 106名)

年間利用人数は36,117名(99.0人/1日)でした。入退所の状況は、新規入所者が35名(昨年比109.3%)、退所者が31名(昨年比103.1%)でした。29年3月31日時点の平均年齢は、男性が82.6歳(昨年比+2.3歳)、女性が89.1歳(昨年比+1.1歳)で、最高年齢は102歳(女性)です。また、平均介護度は3.83で、要介護3以上の入所者が全体の90.9%(昨年比+1.6%)でした。「看取り介護」は23人(昨年比109.5%)実施しました。

(3) ショートステイ/短期入所生活介護の利用状況 (定員 10名)

年間利用人数は5,709人、年間稼働率は156.4%でした。昨年より934人、稼働率で25.1%減少しています。28年度は、特養の稼働率が高く空きベッドが減少したため、ショートステイの稼働率は低下しましたが、昨年度に続いて困難事例も積極的に受け入れ、利用ニーズに最大限対応しました。

(4) デイサービス/通所介護事業の利用状況 (定員一般40名、認知22名)

年間利用人数は14,683人。1日平均利用人数は一般デイ36.5人、認知症デイ11.0人、合計47.5人でした。昨年より年間975人減少しました。

一般デイでは編み物・麻雀・カラオケ・脳トレ・折り紙・習字・絵手紙・趣味活動やレクリエーション等、複数のメニューを用意し、ご利用者に毎日3種類程度の中から自由にお選び頂いています。個別機能訓練I、運動器機能向上加算を算定し、理学療法士と看護師を中心に実施しました。生活機能向上を目的とした体操と、身体機能維持を目的とした小グループ・個別での訓練を行いました。

認知症デイでは、ご利用者に安心して過ごして頂けるよう家庭的な雰囲気創りを心掛けています。活動には、自宅で行っている掃除や皿洗いの家事等も取り入れて自立支援につなげています。また、認知症進行予防になるように回想法や音楽療法等のサービス提供も行いました。

(5) 居宅介護支援事業

管理者1名、ケアマネジャー2名、合計3名体制で運営しています。ケアプラン数は介護予防を含めて1ヶ月平均66.7件でした。居宅介護支援事業所の運営には、最新の制度情報の収集やケアマネジャーのスキルアップが必要となるため、外部研修の参加等により制度の理解や専門性を高めるようにしています。また、高齢者あんしんセンターとの連携によって困難事例の対応や相談支援業務も行っています。

2. 北区委託事業

(1) 高齢者あんしんセンター事業（地域包括支援センター）

平成20年度から北区より受託して9年目になりました。常勤5名、予防プラン作成担当非常勤職員5名、事務職の非常勤1名の体制で運営しています。28年度は、電話対応、窓口対応、訪問での相談件数は予防プラン関係を除き約13,000件、昨年比135%増。予防プランの件数は年間約5,060件(月平均420件)で昨年比100%でした。

高齢者あんしんセンターの担当圏域内高齢化率は約42%で、一人暮らしの方も多いために、今後も相談件数もさらに増加すると考えられます。また、老朽化した2ヶ所の大規模な集合住宅とその立て替えにより、他の地域から転居される高齢者も増加しています。そのため、介護予防を目的としたサロンが、地域の中に13ヶ所あり、その情報交換会も定期的で開催しながら、地域の高齢者が利用できる介護保険事業所以外の社会資源の把握にも努めております。さらに、今年度5月より地域公益活動として近隣の商店街の空き店舗を地域の高齢者、子育て世代などの交流場所として運営しています。

(2) 高齢者住宅事業

現在2棟、計50戸に対して、各1名の生活援助員(LSA)を配置しています。高齢者住宅2棟の生活援助員による活動状況は、訪問432件、警報機対応38件、家事援助7件、不在対応20件、その他251件、苦情が1件でした。不在対応の内訳は入院時の対応がほとんどです。また、その他は、介護援助要素の強い方の呼び出しや対応、住宅供給公社、北区等との調整事項です。なお、生活援助員はコミュニティー支援、ケース会議にも参加しています。

(3) 北区認知症高齢者一時保護事業

北区内での迷子老人の保護施設として事業参画して6年目になりました。28年度は、依頼件数が減少したこともあり、保護実績としては1件で、延べ日数では2日間の一時保護を行いました。

北区立特別養護老人ホーム桐ヶ丘やまぶき荘